

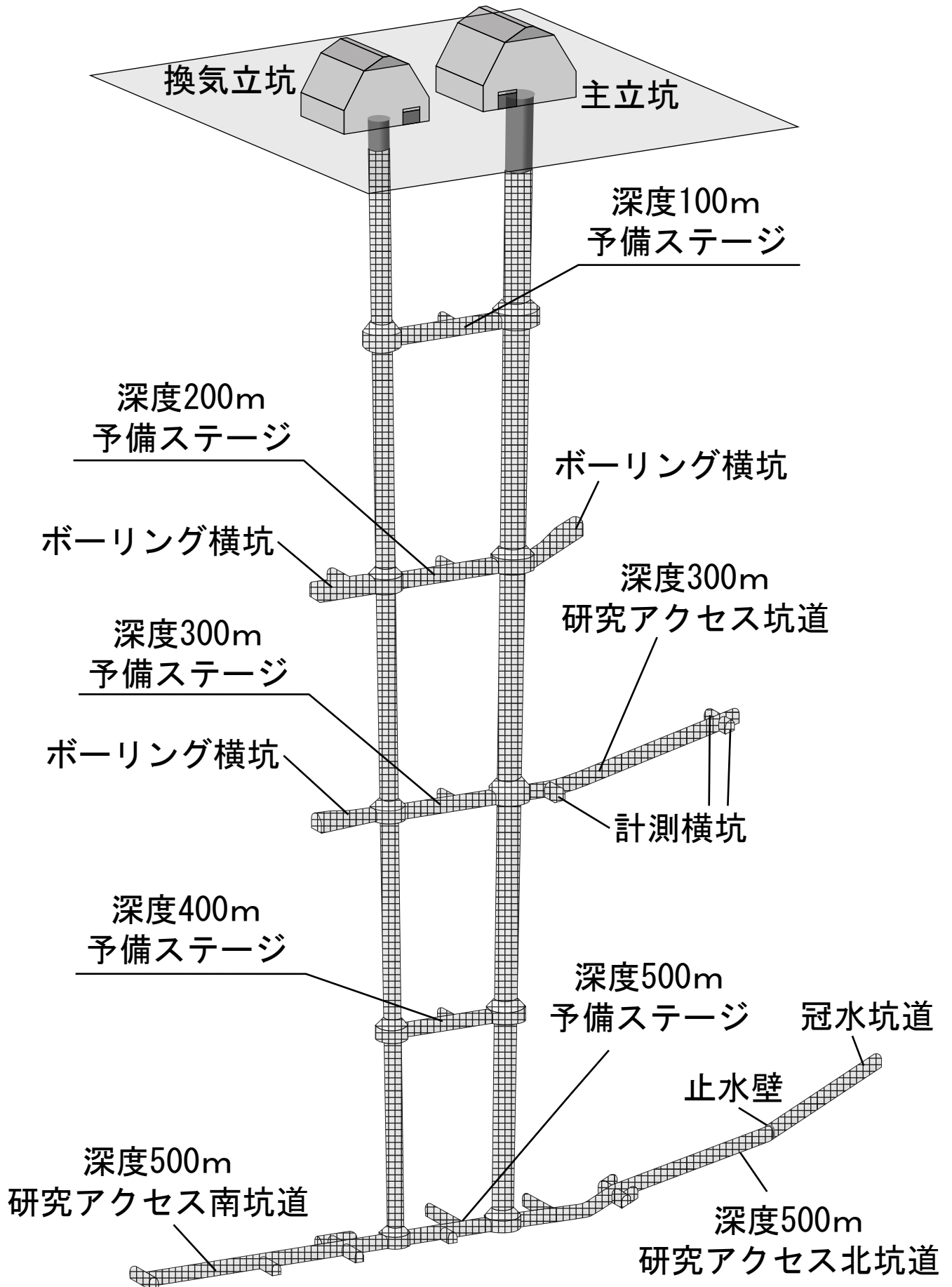
東濃地科学センターの状況

1. 瑞浪超深地層研究所研究坑道埋め戻し
 - ・主立坑:地上施設解体
 - 換気立坑:地上施設解体
 - ・坑内外設備の維持管理
 - ・瑞浪超深地層研究所からの排水 排水処理後放流終了（最終放流日：2021/5/14）
2. 土岐地球年代学研究所施設運転状況
 - ・加速器質量分析装置(AMS)：³⁶Cl 測定中（6/18～）
3. 地質環境の長期安定性に関する研究
 - ・調査技術の開発・体系化を継続
 - ・長期予測・影響評価モデルの開発を継続
 - ・年代測定技術の開発を継続
4. 地下水の環境モニタリング調査
 - [瑞浪超深地層研究所用地]
 - ・深度 300m のボーリング横坑（換気立坑）における鉛直ボーリング孔（09MI17-1・09MI19 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・深度 100m、深度 200m、深度 300m 及び深度 400m の水平坑道（予備ステージ）における水平ボーリング孔（05MI01・07MI07・09MI20・10MI26 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度 300m 研究アクセス坑道における水平ボーリング孔（10MI23 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・深度 300m 研究アクセス坑道における水平ボーリング孔（09MI21 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度 500m 研究アクセス南坑道における水平ボーリング孔（12MI32 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度 500m 研究アクセス北坑道におけるボーリング孔（12MI33）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・深度 500m 研究アクセス北坑道におけるボーリング孔（13MI39～41）を用いた地下水水圧観測を継続
 - ・深度 500m 研究アクセス北坑道、予備ステージ、冠水坑道での地下水水圧・水質観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔（MSB-1-4・05ME06 号孔・MIZ-1 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・換気立坑接続部（深度 500m、深度 400m、深度 300m、深度 200m、深度 100m）での水圧・水質観測を継続
 - ・主立坑、換気立坑での地下水水質観測を継続
 - [正馬様用地]
 - ・地表からのボーリング孔（AN-1，MIU-2～4 号孔）を用いた地下水水圧観測を継続
 - [広域地下水流動研究対象地域]
 - ・地表からのボーリング孔（DH-2，10，11，13，15 号孔）を用いた地下水水圧・水質観測を継続
 - ・地表からのボーリング孔（DH-3 号孔）の観測機器等の撤去、閉塞作業を継続
5. 瑞浪超深地層研究所環境調査
 - ・流量観測を継続（狭間川）
 - ・水位観測を継続（研究所周辺井戸）
 - ・研究所周辺の環境管理測定を継続
 - ・環境保全協定に基づく排水水等の測定を継続
6. 瑞浪超深地層研究所における施設利用等
 - ・東濃地震科学研究所の施設利用（研究坑道内に設置した応力計、地震計及び水圧計による観測）を継続

7. その他

- ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ（我々はなぜ人類誕生以前の歴史をすることができるのか）」を開催（6/26）
- ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ（温泉はどこから来たか?）」を開催予定（7/24）
- ・東濃地科学センター「サイエンスカフェ（鉱物が光る？発光現象をつかった年代測定）」を開催予定（8/28）

坑道埋め戻し状況 (2021. 7. 2現在)



埋め戻し完了範囲